




世界に希望を生み出そう
2023-24 年度 RI テーマ
CREATE HOPE
in the WORLD
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

Weekly Bulletin

藤枝南ロータリークラブ 会報

例 会：毎週金曜日
会 場：小杉苑 藤枝市青木 2-35-30
T E L：054-641-3321

事務局：藤枝商工会議所内
T E L：054-646-3919 F A X：054-643-2000
E-mail：jimukyoku@fujieda-south-rotary.jp

2023-24 年度
会長：渡邊博文 副会長：漆畑雄一郎 幹事：富澤賢一 副幹事：中山恵喜

例 会 第 1 5 2 5 回 通常例会/小杉苑

ソング：それでこそロータリー、ふるさと ソングリーダー：桑原茂君

■ 会長挨拶 渡邊博文君



10月に入りまして、朝晩は冷え込み、昼間は夏を超えるような日々が続く、皆様も体調管理に苦慮されているのではないかと思います。先週の週末に、藤枝大祭りが東海道の沿線で開催されました。私も、今の会社のある地域に所属しているので、参加しました。祭りで困るのが、衣装です。法被に肌襦袢、前掛けに帯、そして猿股です。これらは、事前に何度か試してみて、正しく着ることができるかどうか、試しながら着る練習をしないと、しっかり正しく着るのに、1時間くらいかかります。猿股も前後を間違えると大変なことになってしまいます。そして、一番大事なことは、帯を正しくかっこよく結ぶことができるかどうか、肝心です。帯の結び方は「貝ノ口」という結び方です。Youtubeの動画再生を何回も見まして、何回も練習を重ねできるようになりました。

さて、今月は RI 2 6 2 0 地区の地区大会が浜松にて開催されます。若林さんが 2026-27 のガバナーとして約束される日です。それらの様子は、来週の例会にて詳しくお話をさせていただきます。

「ウクライナの子供たちに笑顔を届ける」第四グループの募金活動についてです。テーブルの募

金箱を持ち帰って、会社や事務所にてロータリー活動を PR しながら無理のない範囲で、今年いっぱいを期限にて募金をお願いいたします。

また、10月24日は世界ポリオデーとなります。ポリオ撲滅運動は皆さんとたくさん行ってまいりました。この活動が始まった 35 年前には世界 125 か国 35 万人の子供たちがポリオの症例が確認されました。1988 年以降 35 億を超える子供たちに予防接種を受け、症例は 99% 減少できました。これらにかかわってこられた保健員は 2000 万人になります。この活動はポリオのみならず衛生、母乳育児、下痢の治療についての啓発活動にも及びます。2021 年のことですが症例は僅か 6 件です。パキスタンとアフガニスタンの 2 か国のみ常在しています。しかし、アフリカ大陸、ヨーロッパなどでも変異したポリオウイルスが検知された事実も報告されています。ポリオ撲滅活動は国際ロータリーが世界に約束した事柄です。人類が唯一根絶した疾病天然痘に続き、ポリオを史上二番目に根絶する疾病にするために一丸となって取り組む活動に歩み始めました。2022-26 に資金拠出予定は、国際ロータリーは 1 億 5000 万ドル、日本政府は 1100 万ドル、ユニセフは 500 万ドル ビル&メリンダ・ゲイツ財団は 12 億ドルです。大変お金が必要な事業です。また、様々な機会がありますので、ご協力お願い致します。

■ 出席報告 笠原大輔君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
41/50 82.0%	45/50 90.0%

第2位に心疾患、第3位は老衰、第4位 脳血管障害です。心臓の病気は主に血管が狭くなったり、つまったりする病気であり、脳の病気は血管がつまる脳梗塞ときれる脳出血があります。

脳梗塞の治療は最近大変進んでいるため発症してから 3~4 時間でしっかり治療が行われるとほとんどの人が社会復帰ができます。脳梗塞を疑う症状である手足の麻痺や呂律がまわらない等の症状が出たら迷わず救急車を呼んで病院に行くことが大切です。

人間の寿命を決めることに大きく関わっているのが血管であり、血管の老化を防ぐことが長生きにつながります。

食事、運動により血管を若く保つこと、そして人とのつながり等により脳の老化を防ぐことが長生きにつながります。

日々の努力により長生きをしようではありませんか。

例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/20(金) 第 1526 回	地区大会報告	小杉苑
10/27(金) 第 1527 回	会員卓話	小杉苑
11/10(金) 第 1528 回	会員卓話	理事会
11/17(金) 第 1529 回	外部卓話	小杉苑



(担当/森竹君)

今週の一言

浏览一啓君



僕が継続しているのは温泉巡りです。僕は若いころから温泉が好きで、志賀高原や妙高赤倉のスキー場の宿は

温泉でしたし、劔岳や槍穂高に登って下山すると温泉で汗を流して帰路に就くのが常でした。これまで愛媛県と高知県と茨城県と沖縄県を除く都道府県の温泉に入ってきましたが、ここ数年は東北が多いです。年に数回、息子が住んでいる岩手県に行きます。その行き帰りに東北の温泉巡りを楽しんでいます。岩手では盛岡インターから 10 分ほどで行ける繋温泉、花巻インターから 30 分以内に鉛温泉、大沢温泉、渡温泉などアクセスのよい温泉が点在しています。その行き帰りに宮城県の鳴子温泉、福島県の作並温泉、栃木県では那須塩原温泉など東北自動車道沿線の温泉地の宿を巡ってきました。

車の運転は苦にならないので、先月も鹿児島からの帰りに、熊本県阿蘇の内牧温泉で一番古い薬師湯という共同浴場に入ってきました。入浴料三百円、三・四人入るといっぱいの湯船は茶褐色で熱めの源泉がかけ流しで、この日は運よく独り占め出来ました。洗い場にカランはありますが、石鹸もシャンプーもありません。温泉好きにはこうゆうのが堪らないんです。時間があつたので、別府でもう一湯入ってフェリーで帰路につきました。高血圧と痛風の持病がある僕は泉質重視なので、日ごろは山梨県や長野県など近場の日帰り温泉に出かけます。増富温泉のラジウム泉と韮崎旭温泉の炭酸泉がお気に入りです。

これからもストレス解消と健康維持のために温泉巡りを続けていこうと思います。